

新潟ジュニアドクター育成塾

R4.10.9 No.8



ドクタープログラム課題研究中間発表会

ドクタープログラム受講生9名は、10月9日(日)午後から新潟大学五十嵐キャンパス図書館内のライブラリーホールとギャラリーで中間発表に臨みました。



午前中のリハーサルでは、大きな会場に緊張する様子もありましたが、本番は9名全員が堂々と発表することができました。質疑応答はギャラリーで行いました。発表をメモを取りながら聞いていたマスタープログラム受講生の個別の質問に丁寧に回答していました。



令和4年度 新潟ジュニアドクター育成塾
ドクタープログラム課題研究
中間発表会
会場入口



～交流会～

後半は、昨年度、一昨年度ドクタープログラムを修了した6名を迎え、交流会を実施しました。修了生からは、受講生に向けて現在行っている研究や科学に関すること、中間発表を聞いての感想、直接経験することや挑戦することの大切さなどが語られました。受講生からは「課題にはどうやって取り組んだらよいかアドバイスをください。」「課題をまとめるときにどうしたらわかりやすく人に伝えることができますか。」「研究を継続する秘訣はありますか。」などの質問が出ました。それぞれの質問に修了生は自分の経験をもとに丁寧に答えていました。受講生にとっては、身近な先輩に1年後2年後の自分の姿を重ね合わせる機会として、修了生にとっては自分が経験したことを振り返ることにより今の自分を見つめる機会となったことと思います。



中間発表会には、保護者の方や課題研究を指導くださっている先生方、新潟大学ジュニアドクター実施委員の方など、多くの方々からご参加いただきました。感謝申し上げます。

※この取組は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による「ジュニアドクター育成塾」事業(2019年度～2023年度)に採択されています。